

# 健康メモ

## SARSと鳥インフルエンザ

広島市医師会副会長  
 県立広島病院呼吸器内科部長

桑原 正雄

### SARS（重

症呼吸器症候群

のことを覚えて  
 おられるでしょ  
 うか？2002



年12月に中国広東省から香港へ、そ  
 して東南アジア、カナダなどへと広  
 がった新型（当時）の呼吸器感染症  
 で、感染の急激な拡大、原因は新型  
 のコロナウイルス、このウイルスを  
 持っていた野生動物はハクビシンや  
 コウモリ、約一〇%の高い死亡率な  
 ど、大きな話題になりました。あの  
 冬に、一人の外国人が関西旅行から

帰国直後にSARSと判明したため  
 に、その立ち寄り先では大騒ぎとな  
 りました。広島にも余波があり、院  
 内で広がるとさらに大変と、決めら  
 れた医療機関での対応としました。

あの外国人旅行者と同じ旅行地に行  
 ったから、同じような飛行機に乗っ  
 たら、さらには流行地から帰った  
 からと、カゼ症状の人からの相談や  
 受診が続きました。幸い日本では感  
 染者は発生せず、SARSパニック  
 も数カ月で終息しました。

SARSを忘れかけた2003年  
 末、山口県の鶏舎で鳥インフルエン  
 ザの集団発生が起きました。この新  
 しいウイルスは、1997年には香  
 港で、ニワトリだけでなく人に初め  
 て感染したことで世界を驚かせまし  
 た。それは、鳥インフルエンザウイ  
 ルスが人に流行するようなウイルス  
 に変異すると、この新型ウイルスに  
 対する免疫力を持っていない人間の

世界では大流行する恐れがあるから  
 です。これまで人類は、当時の新型  
 ウイルスでスペインかぜ（1918  
 年）、など三度の大流行（パンデミッ  
 ク）を経験し、多くの人が亡くなり  
 ました。このため、最近の鳥インフ  
 ルエンザの動向は非常に注目されて  
 います。アジアを中心に濃厚に鳥と  
 接触した二〇〇人近くがこのウイル  
 スに感染して半数以上が死亡したり、  
 日本では今年1月に宮崎県、岡山県  
 の鶏舎でのニワトリの集団感染が確  
 認されています。いつ人に流行を起  
 こすかわかりませんが、世界の専門  
 家は鳥インフルエンザが人への新型  
 インフルエンザになることは間近だ  
 と危機感を抱いてい  
 ます。新しい感染症  
 との闘いは続きます。  
 ぜひとも、これらの  
 情報に注意し、行動  
 してください。